

## 令和4年度第4回千歳市公営企業経営審議会 会議録

日 時 令和5年2月27日（月） 14:00～14:45

場 所 千歳市水道局2階会議室

出席者 別紙名簿のとおり

### 1 公営企業管理者挨拶

### 2 開会

### 3 副会長選出

### 4 議事

#### (1) 報告事項

- ① 令和5年度千歳市水道事業会計予算について  
資料に基づき内容を説明。

(説明者)

経営管理課財政係 西舘主任

#### 【質疑等】

なし

- ② 令和5年度千歳市下水道事業会計予算について  
資料に基づき内容を説明。

(説明者)

経営管理課財政係 櫻井主任

#### 【質疑等】

(松本委員)

栄町地区の下水道工事を進めていることに安心している。家の中への浸水や逆流が無くなった。

(舘澤下水道整備課長)

栄町地区については、雨水と汚水が同じ管で整備されていたが、下水道管を2つに分け、汚水管を敷設して、今の既存管を雨水管として活用するように工事を行っている。令和6年度で清水町から栄町までの区間における仲の橋から国道36号線の間下水道管整備は完了する予定となっている。引き続き整備を進めていく。

(山下委員)

下水道のマンホールカードは学校で配布しているのか。色や形、デザイン等は外にあるのか。

(倉島経営管理課長)

全国統一規格で下水道マンホールカードを発行している事務局があり、本市では2,000枚を発行し、1月28日から配布を始めた。配布方法は、郵送ではなく、水道局に希望者が来庁し、対面で渡しており、土曜日や日曜日にも配布している。

(北村会長)

水道の有収水量と下水道の有収水量の差は、下水道において地下水を使用しているためか。

(倉島経営管理課長)

そのとおりである。差異についてであるが、工場やホテル等は、水道だけではなく地下水も使用しており、汲み上げた地下水を排水することから水道よりも下水道の有収水量が多いこととなる。

(北村会長)

汲み上げた地下水量も把握できる仕組みになっているのか。

(倉島経営管理課長)

工場等では、地下水量を水道局に報告しており、それを認定している。

(北村会長)

ごみ焼却場が移転すると、汚泥を乾燥させるための燃料が増えることになると思うが、いつから増えることになるか。

(館澤下水道整備課長)

令和6年度からごみ焼却施設が現在と違う場所で運転開始となる。下水道も令和6年度から汚泥の乾燥を止めて、脱水汚泥処理を行う。

(北村会長)

乾燥を止めるから、使用するエネルギーも減るということか。

(館澤下水道整備課長)

これまではごみ焼却施設からの廃熱を利用して、汚泥を乾燥していたが、それが無くなる。今後は、汚泥を脱水機で絞って処理をすることとなるため、使用するエネルギーは減る。

(北村会長)

脱水処理した汚泥の利用方法は。

(館澤下水道整備課長)

これまでと同様に、処分業者に引き取っていただき肥料化する。

(北村会長)

脱水処理となった場合にコストは低減されるのか。

(館澤下水道整備課長)

脱水汚泥自体は、乾燥汚泥と比べ水分が多いため容量が2.5倍となる。しかし、他の汚泥処理方式とイニシャルコストやランニングコストを比較検討した結果、脱水処理による汚泥処分方式が一番安価となった。

(北村会長)

乾燥するより脱水した方がコストのメリットがあるということか。

(館澤下水道整備課長)

脱水処理方式は、建設費が生じない。乾燥方式であると、設備更新が生じる。それを全て考慮し、かつランニングコストを含めると、脱水処理方式が一番安い。

## 5 その他

### 【質疑等】

(北村会長)

売り込め千歳のスローガンは以前から設定しているのか。

(倉島経営管理課長)

4年前に、千歳市のシティ・セールス戦略として市役所の全部局がそれぞれキャッチフレーズを掲げることとなり、水道局では、「売り込め千歳！蛇口をひねれば名水百選」をスローガンとした。

(北村会長)

千歳川は美しく、蛇口を捻って出てくる水道水は、非常においしく、名水百選とされた水がいつでも飲める本市は素晴らしいと感じている。良いスローガンである。

## 6 閉会

以上